

経営比較分析表（令和2年度決算）

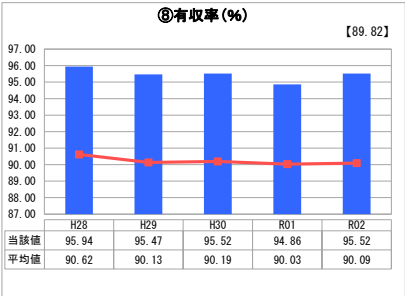
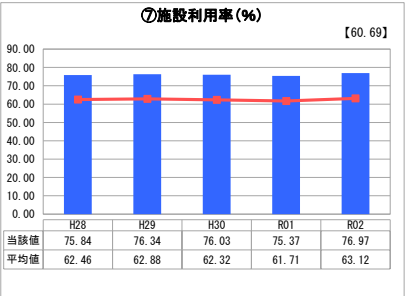
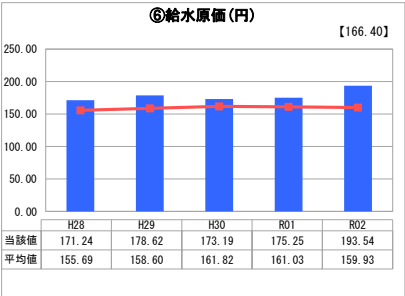
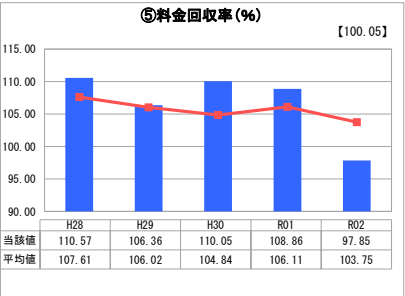
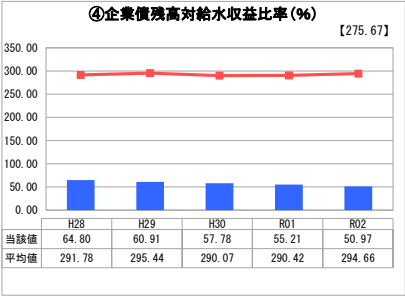
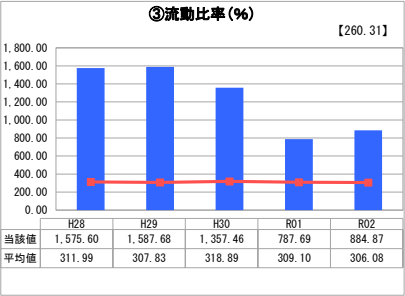
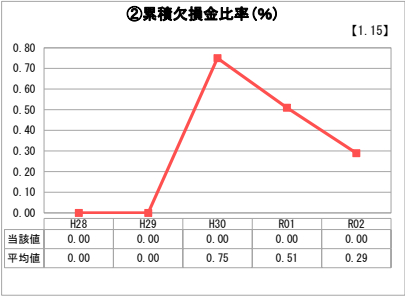
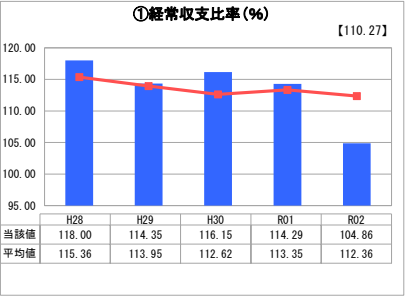
千葉県 佐倉市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A2	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)	
-	92.94	94.33	2,882	

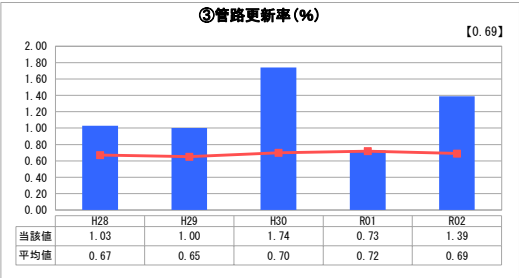
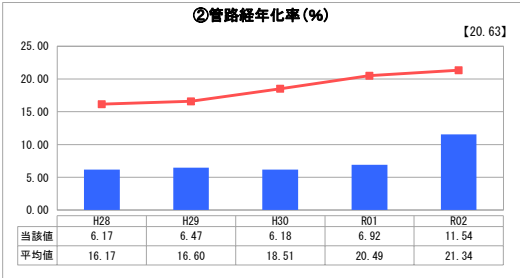
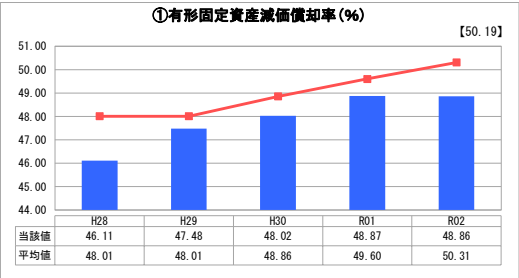
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
173,619	103.69	1,674.40
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
163,400	103.69	1,575.85

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率
前年より悪化し、全国平均・類似団体平均を下回る状況。ハッ場ダム完成により受水費が増加した影響が大きい。
- ②累積欠損金比率
累積欠損金の発生はない。
- ③流動比率
全国平均や類似団体平均と比べて高い水準にある。前年より増加しているのは、流動資産（現金等）が減少しているものの、それ以上に流動負債（未払金）が減少しているため。
- ④企業債残高対給水収益比率
平成22年以降、企業債の新規借入をしていないため、全国平均・類似団体よりもはるかに低い。
- ⑤料金回収率
ハッ場ダム完成に伴い受水費が増加したことにより、給水原価が大幅に増加し、100%を下回る結果となった。
- ⑥給水原価
ハッ場ダム完成に伴い受水費が増加した影響が出ている。
- ⑦施設利用率
全国平均、類似団体平均とともに上回っており、効率よく施設を利用できている。
- ⑧有収率
前年の数値が台風による停電の影響で赤字が発生し、その捨て水処理のため有収率が一時的に悪化した。R2年度は平年並みに戻っている。全国平均、類似団体平均とも上回っている状況。

2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率
前年比△0.01ポイント。全国平均や類似団体平均と比べて低い数値。
- ②管路経年化率
大規模開発による管路が新たに対象となり、前年比+4.62ポイントとなった。全国平均や類似団体平均と比べて低い数値ではあるものの、依然として老朽化が進んでいる。
- ③管路更新率
前年比+0.66ポイント。全国平均や類似団体平均と比べると高い数値である。
前年度よりも高い数値となっているが、令和元年度から令和2年度への繰越事業が多かったことによるものである。耐用年数や経年化率を考えると、今後もペースを落とさず更新していく必要がある。

全体総括

流動比率等、類似団体平均や全国平均と比較してまだ良好な指標もあるが、経常収支比率や料金回収率等は急激に悪化し、各平均を下回っている。

これは受水費等の費用が大幅に増加したことによるもので、給水原価が供給単価を上回る逆ザヤの状態となっている。

今後、水需要の減少による収益減が見込まれるなか、耐震化工事等の災害対策を進める必要があり、より一層厳しい経営環境が予想される。

このように、早急な経営基盤の強化が求められる状況であったことから、佐倉市議会（令和3年8月定例会）の議決を受け、令和4年4月1日より料金改定を実施する。